

大学の 仲間たち



和名 メスグロヒョウモン
学名 *Damora sagana ilone*
分類 タテハチョウ科
羽開長 30-40mmくらい

メスグロヒョウモン

豹（ヒョウ）の体のような紋を羽にもつので、ヒョウモンチョウと呼ばれるチョウの仲間がいる。昼間活発に飛翔する中型のチョウの代表であるタテハチョウ科に属し、日本からは11種が知られる。いずれもよく似ているが、わずかな羽の模様や色の違いから、ツマグロヒョウモン、ミドリヒョウモン、ウラギンスジヒョウモンなどと名付けられている。このうちのツマグロヒョウモンはすでに紹介した。大学構内やこの周辺で普通に見られるのは、ここに名前をあげた3種の他に、メスグロヒョウモンである。もともとこの4種は普通に見られると書いたが、ツマグロヒョウモン以外はそんなに多く見かけるわけではない。ヒョウモンチョウの仲間は雌雄で羽の模様ほとんど違いはないが、本種は例外であり、オスには豹紋があるが、メスの羽には豹紋はなく、名前のように黒っぽい、まったく別種のように見える。幼虫はスミレを食べるので、本学構内でも繁殖している可能性は高いが、私はまだ確認していない。このあたりでは6月中旬から7月中旬にかけてと9月から10月半ばに見られるが、年に2回蛹から羽化するわけではなく、6月に羽化したチョウが真夏には活動が不活発になり、ほとんど姿を見かけなくなると思われている。

（自然環境教育センター長 前田喜四雄）

URL <http://www.nara-edu.ac.jp/ECNE/index.htm>



奈良教育大学 広報誌

第22号 平成18年7月22日 編集／広報・情報公開委員会 発行／国立大学法人奈良教育大学
〒630-8528 奈良市高畑町 ☎0742-27-9105 ☎0742-27-9141
<http://www.nara-edu.ac.jp> kouhou@nara-edu.ac.jp